

Make The Next Quality

—— 未来品質を創造する ——



株式会社 ^{トゥエンティワン} ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

第97期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

株主の皆様へ



代表執行役社長
金森滋美

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。
さて、このたび第97期（2018年4月1日～2019年3月31日）の決算を行いましたので、事業の概況につきご報告申しあげます。

代表執行役社長 金森 滋 美

経営基本方針

「安全」と「安心」を大切にして物流事業を通じ社会に奉仕する私たちヒガシ21

経営理念

3つの使命

1. 商品・サービスの使命 …お客様・荷主様の満足する物流サービスを提供し、信頼の向上に努めます。
2. 社会的使命 ……良き企業市民として社会のルールを守り、地域に貢献、環境保全に取り組みます。
3. 経済的使命 ……社会、株主、社員の繁栄を図るため、常に経営基盤の強化・安定を図ってまいります。

事業の経過及びその成果

当連結会計年度（2018年4月1日～2019年3月31日）におけるわが国の経済は、豪雨や地震など相次ぐ自然災害の影響もある中、企業収益や雇用環境については改善が継続し、緩やかな回復基調で推移した一方、人手不足に起因する人件費の上昇、米中貿易摩擦や中国経済減速による企業業績への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

物流業界においては、輸送量は総じて堅調に推移したものの、人手不足に起因する人件費や外注費の増加並びに燃料価格上昇などのコスト上昇圧力は依然として高く、厳しい経営環境でありました。

このような状況のもと当社グループは、「新3ヵ年計画（2019年3月期～2021年3月期）」の1年目として、新規顧客の積極的な開拓及び既存顧客への深耕拡大に努め収益基盤を強化し、戦略事業であるオフィスサービス事業の領域拡大による更なる収益力の向上に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績は、これらの取り組みの効果もあり、売上高234億99百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益8億85百万円（同9.2%増）、経常利益9億25百万円（同13.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億84百万円（同16.6%増）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

①運送事業

当事業につきましては、売上高は161億40百万円（前年同期比11.1%増）となり、セグメント利益は16億17百万円（同27.3%増）となりました。これは、事務所移転作業が増加したことによるものです。

②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は54億84百万円（前年同期比23.6%増）となり、セグメント利益は5億87百万円（同15.2%減）となりました。株式会社イシカワコーポレーションの完全子会社化により、倉庫作業売上が増加した一方、新センター立上によるコスト増によりセグメント利益は減少いたしました。

③商品販売事業

当事業につきましては、売上高は6億78百万円（前年同期比2.7%減）となり、セグメント利益は12百万円（同23.3%減）となりました。これは主に、スポット案件である什器販売が減少したことによるものです。

④ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高は8億52百万円（前年同期比0.3%減）となり、セグメント損失は89百万円（前年同期は28百万円の損失）となりました。これは、前期末の新拠点立上げに伴い、初期投資費用等が増加したことによるものです。

⑤その他事業

当事業につきましては、売上高は3億43百万円（前年同期比8.9%減）となり、セグメント利益は23百万円（同36.4%減）となりました。これは主に、駐車場事業における大口得意先との駐車場用地の賃貸借契約が解除となったことによるものです。

対処すべき課題

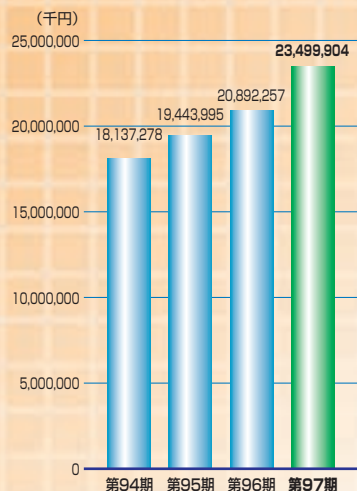
当社グループは、2015年6月に2025年度を目標年度とする「長期経営ビジョン2025」を策定し、「構造転換期」と位置づけた最初の3年間で従業員500名体制を達成し、成長分野に人材をシフトすることで、首都圏での基盤拡大、M&A、事業分社化による会社設立等によりグループ経営の基盤を固めてまいりました。2018年4月には次のステージとして「進化・成長期」の前半3年間をターゲットとした「新3ヵ年（中期）経営計画」を策定し、売上高250億円以上、ROE6%以上、配当政策として安定配当かつ利益還元を重視し、配当性向30%を目標としております。

「安全」と「安心」を大切にして物流事業を通じ社会に奉仕するという経営理念のもと、新3ヵ年経営計画では人材育成、成長投資、グループ経営の最適化、株主還元を基本方針として、当社グループ従業員が一丸となって社会に真の満足をお届けできる会社を目指し、Make The Next Quality（未来品質の創造）をキャッチフレーズとした全社的品質向上施策を一段と強力に推進していくとともに、更なる企業価値の向上に向けて取り組んでいく所存であります。

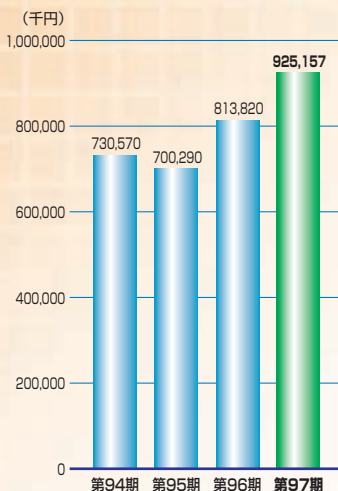
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

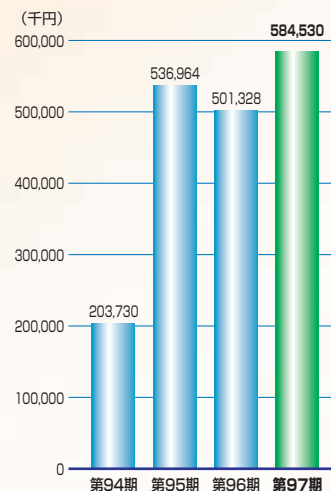
●売上高



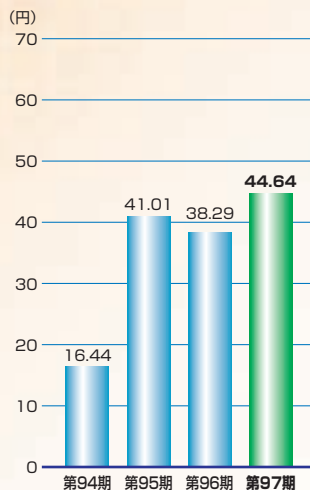
●経常利益



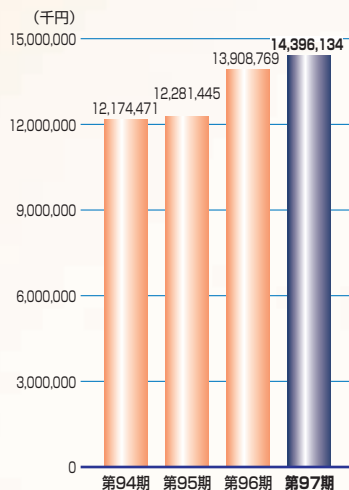
●親会社株主に帰属する当期純利益



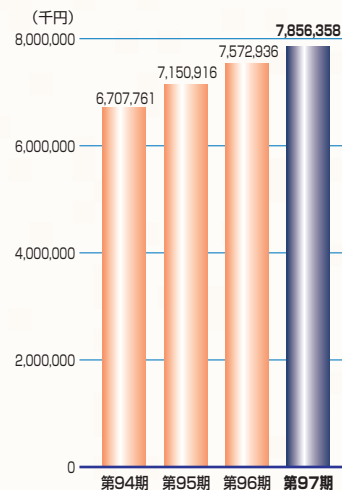
●1株当たり当期純利益



●総資産



●純資産



(注) 千円単位の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科 目	第97期 (2019年3月31日現在)	第96期 (2018年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,931,137	6,915,888
固定資産	7,464,996	6,992,881
有形固定資産	5,583,334	5,230,278
無形固定資産	465,341	514,479
投資その他の資産	1,416,320	1,248,124
資産合計	14,396,134	13,908,769
負債の部		
流動負債	4,532,524	4,329,897
固定負債	2,007,252	2,005,936
負債合計	6,539,776	6,335,833
純資産の部		
株主資本	7,871,900	7,573,362
その他の包括利益累計額	△15,542	△426
非支配株主持分	—	—
純資産合計	7,856,358	7,572,936
負債及び純資産合計	14,396,134	13,908,769

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

第97期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	927,016	95,950	6,550,512	△116	7,573,362	48,779	△49,205	△426	—	7,572,936
当期変動額										
新株の発行	38,094				38,094					38,094
剰余金の配当			△157,130		△157,130					△157,130
親会社株主に帰属する 当期純利益			584,530		584,530					584,530
自己株式の取得				△166,956	△166,956					△166,956
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					—	△33,262	18,146	△15,116	—	△15,116
当期変動額合計	38,094	—	427,400	△166,956	298,537	△33,262	18,146	△15,116	—	283,421
当期末残高	965,110	95,950	6,977,913	△167,073	7,871,900	15,516	△31,059	△15,542	—	7,856,358

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	第97期 (自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日)	第96期 (自 2017年4月 1 日 至 2018年3月31日)
売上高	23,499,904	20,892,257
売上原価	19,110,691	16,967,847
売上総利益	4,389,213	3,924,410
販売費及び一般管理費	3,503,574	3,113,366
営業利益	885,639	811,044
営業外収益	81,535	57,494
営業外費用	42,017	54,718
経常利益	925,157	813,820
特別利益	126,919	—
特別損失	171,299	5,233
税金等調整前当期純利益	880,777	808,586
法人税、住民税及び事業税	215,114	327,491
法人税等調整額	81,132	△20,233
当期純利益	584,530	501,328
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	584,530	501,328

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	第97期 (自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日)	第96期 (自 2017年4月 1 日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	955,545	857,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△633,524	△631,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△609,584	348,641
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△287,564	574,851
現金及び現金同等物の期首残高	2,864,830	2,289,979
現金及び現金同等物の期末残高	2,577,266	2,864,830

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科 目	第97期 (2019年3月31日現在)	第96期 (2018年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,186,323	6,341,106
固定資産	7,723,373	7,348,115
有形固定資産	5,403,313	5,178,473
無形固定資産	144,506	175,725
投資その他の資産	2,175,552	1,993,917
資産合計	13,909,696	13,689,222
負債の部		
流動負債	4,247,433	4,235,645
固定負債	1,822,506	1,859,369
負債合計	6,069,939	6,095,014
純資産の部		
株主資本	7,824,418	7,545,593
評価・換算差額等	15,338	48,614
純資産合計	7,839,756	7,594,208
負債及び純資産合計	13,909,696	13,689,222

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

第97期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額等 合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金								利益剰余金 合計
					圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						
当期首残高	927,016	95,950	95,950	88,660	71,930	5,420,000	942,152	6,522,743	△116	7,545,593	48,614	48,614	7,594,208
当期変動額													
新株の発行	38,094									38,094			38,094
圧縮積立金の取崩					△3,161		3,161	—		—			—
別途積立金の積立						100,000	△100,000	—		—			—
剰余金の配当							△157,130	△157,130		△157,130			△157,130
利益準備金の積立				15,713			△15,713	—		—			—
当期純利益							564,817	564,817		564,817			564,817
自己株式の取得									△166,956	△166,956			△166,956
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）											△33,276	△33,276	△33,276
当期変動額合計	38,094	—	—	15,713	△3,161	100,000	295,135	407,687	△166,956	278,825	△33,276	△33,276	245,548
当期末残高	965,110	95,950	95,950	104,373	68,769	5,520,000	1,237,288	6,930,431	△167,073	7,824,418	15,338	15,338	7,839,756

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	第97期 (自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日)	第96期 (自 2017年4月 1 日 至 2018年3月31日)
売上高	20,597,952	19,970,476
売上原価	16,973,905	16,247,759
売上総利益	3,624,046	3,722,716
販売費及び一般管理費	2,908,271	2,929,870
営業利益	715,774	792,846
営業外収益	200,597	60,998
営業外費用	45,856	31,340
経常利益	870,516	822,504
特別利益	125,669	—
特別損失	174,293	5,233
税引前当期純利益	821,892	817,271
法人税、住民税及び事業税	165,358	316,049
法人税等調整額	91,715	△21,106
当期純利益	564,817	522,328

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

事業の内容

① 運送事業

輸送サービス事業

近畿地区及び中部地区の新聞配送、ビールメーカー及び飲料会社の大阪中・南部地区の配送、製鋼所の非鉄金属の輪配送業務並びに一般荷主等の輸送業務を行っております。



新聞積込作業

事務所移転・引越事業

企業各社の事務所移転業務を受託しており、移転規模に合わせてプロジェクトチームが顧客の業務に支障をきたさないプランニングを行い、各官庁に対する諸手続きや移転前後の近隣対応等、事前・事後処理に関する業務までサポートしております。



日本生命丸の内ビル

静脈物流事業

全国の中間処理業者、産業廃棄物収集運搬業者をネットワーク化し、機密書類・OA機器等の回収サイクル化に応えられる体制を整えております。

また、オフィスの機密書類等の紙資源処理は、顧客の要望によりリサイクルボックスの設置及び回収業務、更には、全国各地で選定した製紙会社及び運送業者と提携して、ダンボール箱に詰めた機密書類を第三者の目に触れさせることなく溶解処理を実施しております。

回収からリサイクル処分が完了するまで責任を持って行うトータル物流システムにより、資源の再利用等の「環境負荷軽減」に対応した業務を提供しております。



製紙会社でのリサイクル処理

② 倉庫事業

保管サービス事業

製鋼所、家電商品メーカー及びコンビニエンスストアの物流センター等、個々の顧客の商品に適した保管・管理方法を提供しております。

また、在庫管理から物流加工、配送まで一貫した総合情報システムで顧客の物流基地としての機能を提供しております。



阪神総合物流グループ

ドキュメントサービス事業

国土交通省の認定を受けているトランクルームのセキュリティは、静脈認証システムやビデオカメラによる24時間監視体制の警備システムを整え、利便性と安全性を両立させた業務を行っております。

企業の書類（企業情報）や特別な管理スペースが必要なデータ類を保管し、お預かりした保管物は、保存期間が確認できる管理データの明細票を発行することで、必要な情報を随時お届けしております。保存期間が到来した機密文書等は廃棄（リサイクル）する等の一貫したシステムを採用することで、オフィススペースの有効活用を図るサービスを提供しております。

また、紙で保管されたままの文書や図面を、低コストで高品質かつスピーディーにスキャンングしてデータ化するデジタルソリューション事業にも取り組んでおります。



ドキュメントサービスセンター



③商品販売・その他事業

IT関連事業

PCが数台のオフィスから、全国数千台規模の大企業まで、お客様の環境に応じてPCをカスタマイズしております。機器の調達、キッティングから現地でのセッティングはもちろん、メンテナンス（保守支援）等、当社グループの物流インフラを活用してトータルにサポートしております。

また、PCデータのイレース（機密データの消去又は物理破壊、リユースシステムによる中古PC販売又はリサイクルシステムによる再資源化）事業を展開しております。



ビル内デリバリー事業

首都圏では、東京オペラシティ・六本木ヒルズ・表参道ヒルズ・仙石山ヒルズ・お茶の水ワテラスタワー、日本生命丸の内ビル・エステック情報ビル・神宮前タワービルディング、中部圏では、名古屋グローバルゲートタワー、関西圏では、グランフロント大阪南館・ニッセイ新大阪ビル・堂島アバンザ・新ダイビルにおいて、大型都市ビル内の快適な環境を守り、円滑なモノの流れを保つために、ビル館内での物品の搬出入を一括管理して共同配送することで、モノの流れを統括する物流システムを構築しております。

また、六本木ヒルズでは「ヒルズ21」というオフィスコンビニを運営しており、大型ビル内において便利で身近なサービスを提供しております。



六本木ヒルズ



東京オペラシティ

〈お知らせ〉

当社の成長領域と位置づけられるビル館内デリバリー事業につきましては、その事業の個性を自由に拡張、主体的かつ効率的に事業拡大を図る観点から、2018年4月1日を効力発生日として、当社の100%子会社である株式会社FMサポート21に事業承継いたしました。

福祉用具レンタル事業

ベット・車椅子をメインに福祉用具のレンタル及び販売を行っております。

レンタル品は最新鋭の設備で洗浄・消毒・殺菌し、納品の際の作業員の作業服にも清潔・消毒を徹底、お客様に心地よくきめ細かいサービスを提供しております。



駐車場事業

物流事業で培ったネットワークを活かし、大阪・名古屋を中心に駐車場事業を展開しております。立体駐車場等の各地域に適した駐車場の運営管理を行っております。



ニッセイ淀屋橋駐車場



ヒガシバーキング(名古屋)

★ヒガシ21グループは子どもたちの「みらい」をおうえんしています

HEROES CUP



ヒーローズカップは小学生を対象にしたラグビーの全国大会です。

当社では、ヒーローズカップに協賛し、スポーツを通じて未来を支える子どもたちの活躍を応援しています。



こどもミュージアムプロジェクト



こどもミュージアムプロジェクトは子どもたちが描いた絵をトラックにラッピングした車両で走ることにより、トラック運転手、周りのドライバー、そのトラックを見たすべての人に「やさしい気持ち」を広げていくプロジェクトです。当社はこどもミュージアムプロジェクトに参画し、交通事故ゼロ・危険運転ゼロに取り組んで参ります。



ヒガシ21グループ

株式会社 ヒガシ21
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

U-TRANS SYSTEM

ISHIKAWA
株式会社 イシカワコーポレーション

FM SUPPORT 21

株式会社トランスポート21

株式の状況

(2019年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式総数 12,836,258株
 (自己株式340,542株を除く)
 株主数 2,524名

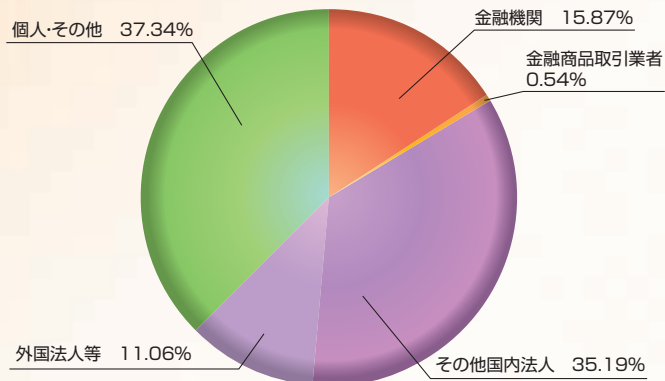
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
関西電力株式会社	1,800	14.0
日本生命保険相互会社	1,040	8.1
星光ビル管理株式会社	938	7.3
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	770	6.0
株式会社毎日新聞社	700	5.5
東京センチュリー株式会社	540	4.2
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	521	4.1
株式会社西日本シティ銀行	520	4.1
株式会社三菱UFJ銀行	364	2.8
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	249	1.9

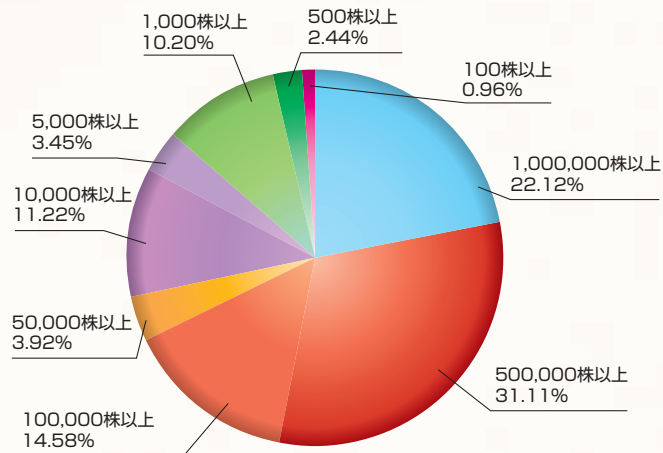
(注) 持株数は、千株未満を切り捨て、持株比率は、自己株式(340,542株)を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

株式の分布状況

所有者別状況



所有株数別状況



会社概要

会社概要 (2019年4月1日現在)

社名 株式会社ヒガシトゥエンティワン
HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.
設立 1944年12月
本社 大阪市中央区内久宝寺町三丁目1番9号
〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代)
東京本社 東京都港区新橋一丁目18番16号 日本生命新橋ビル9階
〒105-0004 TEL03 (6455) 7021
資本金 9億65百万円
主な営業種目

- 貨物の運送並びに貨物運送取扱事業
- 一般貨物自動車運送事業
- 貨物利用運送事業
- 貨物軽自動車運送事業
- 倉庫業
- 重量物の組立て及び据付、運送
- 駐車場経営
- 日本郵政株式会社関連業務
- IT関連事業
- 産業廃棄物収集運搬
- 福祉用具レンタル及び販売事業

従業員数 連結従業員数759名(単体従業員数499名)

主要事業所 (2019年4月1日現在)

- **支店**
 - 札幌支店 名古屋支店
 - 仙台支店 広島支店
 - 横浜支店 福岡支店
- **オフィスサービス事業部**
 - 東京オフィスセンター
 - 名古屋オフィスセンター
 - 西日本オフィスセンター
 - ITサポートセンター
- **リテール・ソリューション 第一事業部**
 - ウエストテクニカルセンター
 - SE物流グループ
- **リテール・ソリューション 第二事業部**
 - 東大阪総合物流グループ
 - 堺総合物流グループ
 - 西脇物流グループ
- **東京ロジネット事業部**
 - 東京総合物流グループ
 - ドキュメントサービスセンター
- **京滋・多久ロジネット事業部**
 - 京滋総合物流グループ
 - DSHグループ
 - 多久ロジネットセンター
- **名古屋ロジネット事業部**
 - 名古屋総合物流グループ
 - ヒガシパーキング
- **茨木ロジネット事業部**
 - 茨木総合物流グループ
- **関電ロジネット事業部**
 - 関電物流グループ
 - 関電連絡便センター
- **NH事業部**
 - NH営業室
 - 日生物流センター
 - パーキング営業グループ
 - 東京NH営業室
- **介護サービス事業部**
 - 関西レンタルオフィス
 - 東海レンタルオフィス
- **輸送事業部**
 - 阪神総合物流グループ
 - 郵便輸送センター
 - 阪神倉庫
 - 大阪中央輸送センター
 - 大正輸送センター

役員 (2019年6月19日現在)

取締役

取	締	役	金森	滋美	
取	締	役	児島	一裕	
取	締	役	平野	尚	
取	締	役	山田	寛	
社外	取	締	役	向井	利明
社外	取	締	役	齊藤	善也
社外	取	締	役	江上	雅彦
社外	取	締	役	樋口	真人
社外	取	締	役	大西	由紀
社外	取	締	役	脇	陽子

執行役

代表執行役社長	金森	滋美 ※
執行役員 副社長	児島	一裕 ※
専務執行役員	平野	尚 ※
常務執行役員	山田	寛 ※
常務執行役員	西村	元伸
常務執行役員	田口	宗勝
上席執行役員	原田	昌也

※は取締役を兼務しています。

執行役員 (2019年7月1日現在)

執行役員	外園	千尋
執行役員	吉原	永詞
執行役員	角野	公史
執行役員	島田	了

グループ会社・関連会社 (2019年4月1日現在)

ユートランスシステム株式会社
株式会社イシカワコーポレーション
株式会社F Mサポート21
株式会社トランスポート21

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日

3月31日

中間配当金受領株主確定日

9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

公 告 の 方 法 電子公告により行う

公告掲載URL <https://www.e-higashi.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日
新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。



当社は、2006年5月25日付けで、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、8営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみに与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トウエンティワン

株式会社 ヒガシ21

■ 株主ご優待制度のお知らせ ■

当社では、株主の皆様からの日頃のご厚情に感謝の意を込めて、毎年9月30日現在の株主の皆様に対し、年1回、下記の基準により株主優待を実施いたします。

贈呈基準 所有株式数500株（5単元）以上保有の株主の皆様

優待内容 500株以上1,000株未満は1,000円、1,000株以上2,000株未満は2,000円、2,000株以上は4,000円相当のクオカードを贈呈。また、500株以上を1年以上継続保有（毎年9月末日の株主名簿に同一の株主番号で2回以上連続して記載された株主様を対象）いただいている場合、1,000円相当のクオカードを合わせて贈呈。

贈呈時期 毎年11月下旬から12月初旬頃の発送を予定

■ ホームページのご案内 ■

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

ヒガシ21

検索

<https://www.e-higashi.co.jp>



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。